

(4) 避難するとき

避難の用意

テレビやスタンドなど電気機器のコンセントを抜く。

非常持出し品を用意する。

できる範囲で戸締りをする。

分電盤のブレーカーを切る。

避難

あわてずに、階段室を通して、避難する。

エレベーターは使わない。

(停電で停止する。故障しているかもしれない。)

玄関のドアが開かず階段室に出られないときは、

- 1) 3号館・4号館：ベランダに出て境の隔壁ボード^{*1}を破り、隣の住戸に入れてもらい、そこを通過して階段室に出る。
- 2) 1号館・2号館：南側ベランダに出て、助けを待つ。

*1) ベランダにある隣の住戸との隔壁ボードは、防災訓練で壊す練習を行っていますが、強い力で押すか、叩けば破れることは確認しています。

(例：足で強く押す。又は、足の裏全体を使って、蹴る。)

★避難する前に、必ず電気系統のチェックをしましょう。

停電でスイッチの入った電気器具が作動しなくなっても、後日、回復すればこれらの器具が通電して過熱し、火災を引き起こす危険があります。

★地震に乗じて忍び込む泥棒もいます。玄関ドアがゆがんだりガラス戸が壊れたり、いろいろ問題があるかもしれませんが、できる範囲で戸締りをします。（火災が発生している場合は、施錠はしないで下さい。）

★非常持ち出し品は、日頃からしっかり用意しておきます。

★避難は階段室を使ってゆっくりと。みんな一斉に避難することになるので、階段室は混雑するかもしれません。落ち着いて行動することが大切です。もし、動いていてもエレベーターは使わないで下さい。いつ停止するかが分かりません。

★玄関のドアが開かず、そこから避難できないときは、ベランダから避難します。

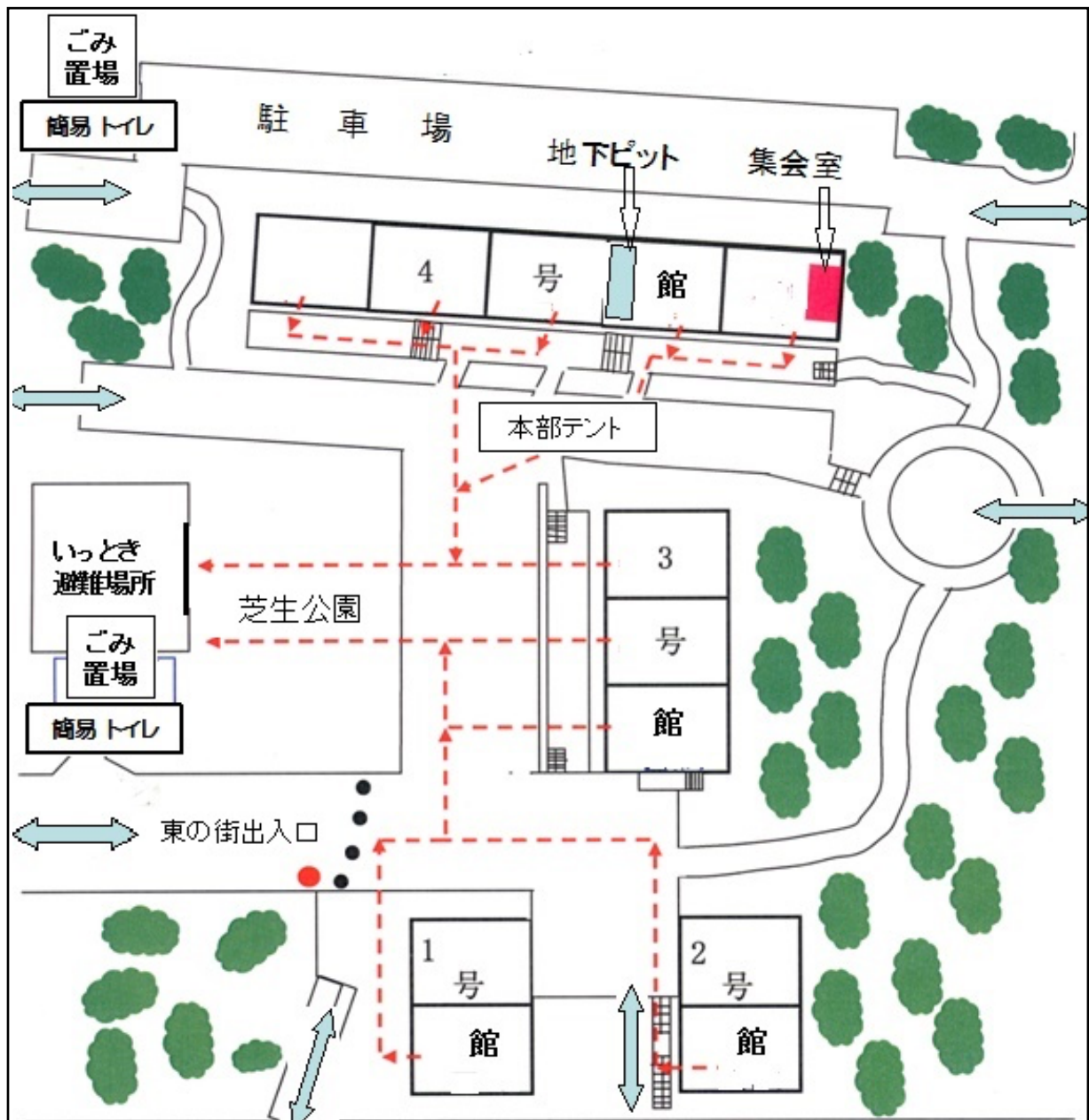
★ 3 号館、4 号館の場合、お隣との隔壁ボードは強い力で叩くか押せば、必ず壊れます。お隣のベランダに出たら、部屋に入れてもらい、そこから階段室に出ます。お隣が不在なら、さらに隔壁を破ってそのまたお隣のベランダに 行きます。

★ 1 号館、2 号館の場合、南側ベランダに避難はしごがありますが、使うのは危険で、地上から梯子などを使った救助を待ってください。

★ 3 号館には、両端の住戸の南側のベランダに、下の階に降りることのできる避難ハッチがあります。

★4 号館の避難ハッチは南北両端の住戸の東側のベランダにあります。従って、4 号館では、西側のベランダを伝って両端いずれかの住戸まで行き、その住戸に入って、避難ハッチを使うことになります。

避難経路と被災後の施設配置図



(注記1) 簡易トイレは原則として設置しない。

(注記2) 建物が破壊されない限り、他所への避難はしない。

ただし、エレベーターが使用できず、部屋に戻れない高齢者などの方については、集会室の一時使用を許可する。



東の街の外へ避難する場合の避難場所

東の街の建物が大きく崩壊したり、地盤が崩れたりしたときや、大規模な火災が発生したときなどには、下記の避難場所に避難する場合があります。その場合には、東の街としてお互いに助け合いながら、まとまって行動することになります。勝手な行動はしないで、本部の指示に従ってください。

